

2022年12月期（2022年度）決算説明会

内容

- ◆ 22年度 連結業績サマリー
- ◆ 22年度 事業セグメント別実績概況
- ◆ 中期経営計画SIC- II の進捗
- ◆ 23年度 計画
- ◆ 設備投資・商号の変更について

- (参考) 株主還元
 - BS概況・PL概況
 - 事業別・地域別セグメント業績
 - 主な製品・用途

決算説明会 開催日：2023年2月21日

決算説明会資料 公開日：2023年2月17日

本資料中の計画、予想は2023年2月17日現在の認識・前提にたっており、これからの国際情勢、経済状況、事業環境に著しい変化があった場合には、実際の業績が記載と大きく異なる可能性があります。また、表記の金額は億円未満について四捨五入しております。

2022年度連結業績と2023年度計画

(単位：億円)

科目	21年度実績	22年度実績	増減率(%)	22年度通期計画 (修正後)	23年度通期計画
売上高	2,880	3,159	9.7	3,150	3,300
営業利益	130	69	▲47.2	70	110
経常利益	154	79	▲48.8	85	95
親会社株主に帰属する 当期純利益	95	93	▲1.9	90	60
営業利益率	4.5%	2.2%	▲2.3points	2.2%	3.3%
海外売上高比率	49.9%	52.8%	2.9points		

計画の前提となる指標と実績

		21年度 平均	22年度 平均	23年度 前提
為替	1 USD	¥110.4	¥132.1	¥130.0
	1 EUR	¥130.3	¥138.5	¥140.0
	1 RMB	¥17.1	¥19.5	¥19.5

		21年度 平均	22年度 上半期	22年度 下半期	23年度 前提
原料	ナフサ(/KL)	¥50,170	¥75,350	¥76,950	¥65,000

■ 増収減益：増収も、原材料高騰と液晶パネル市況悪化で減益

売上

為替影響と価格改定効果で増収

中国は低調も海外で伸長 **海外比率は過去最高52.8%**

- リキッドインキ、粘着剤・接着剤、機能性インキなどパッケージ関連が増収

営業利益

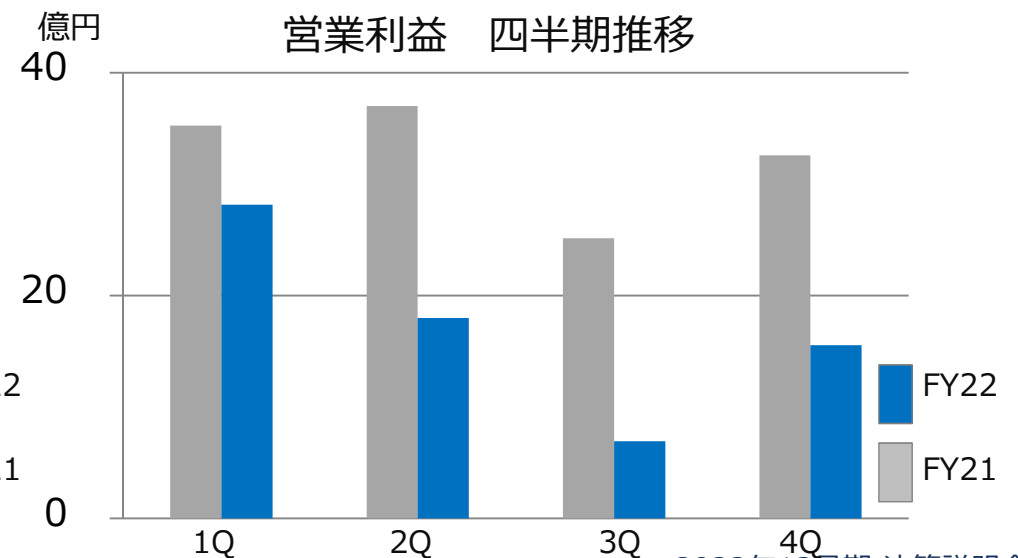
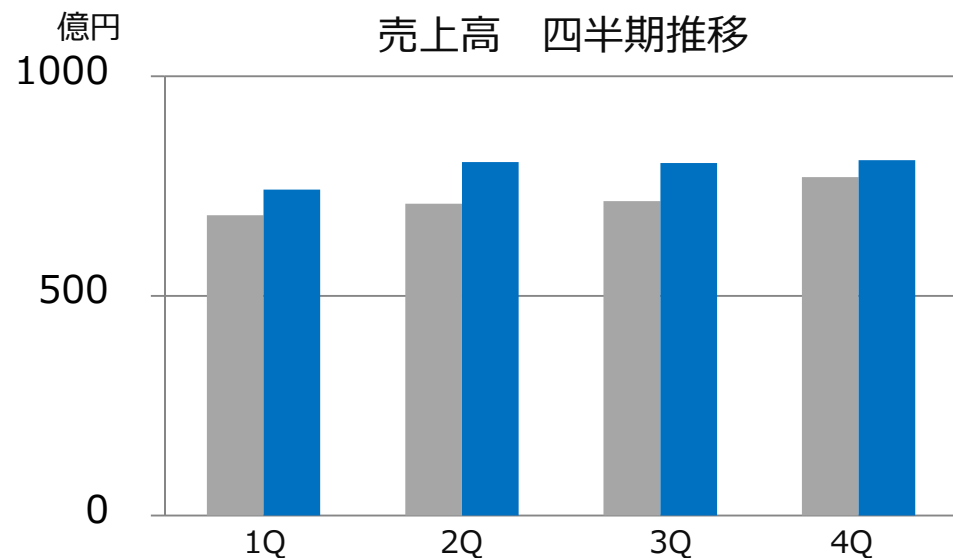
原材料価格の急激な高騰、

液晶パネル・エレクトロニクス市況の急減速の影響で減益

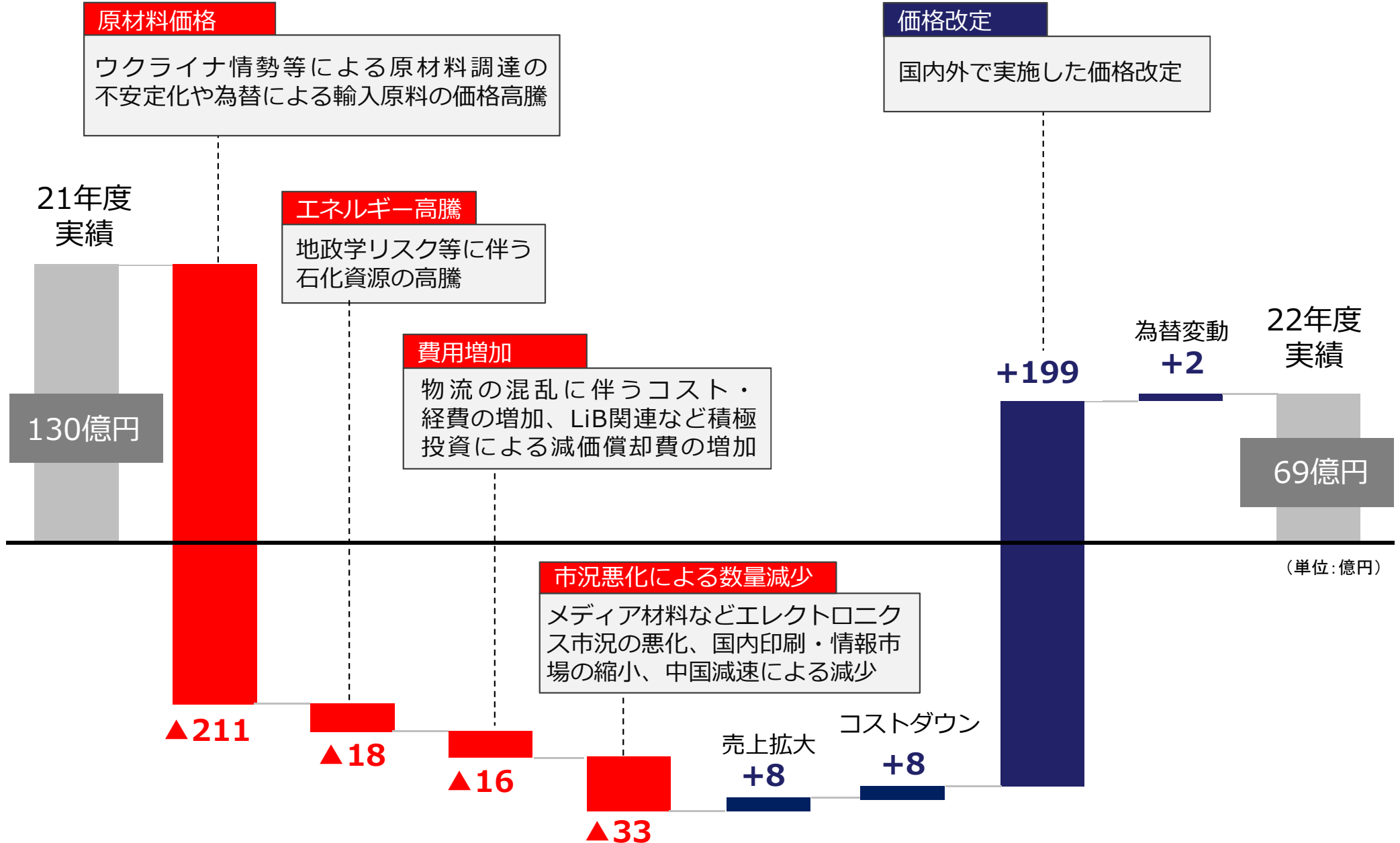
当期純利益

前年並を確保

- 政策保有株式の削減による特別利益を計上



2022年度 営業利益の増減要因分析

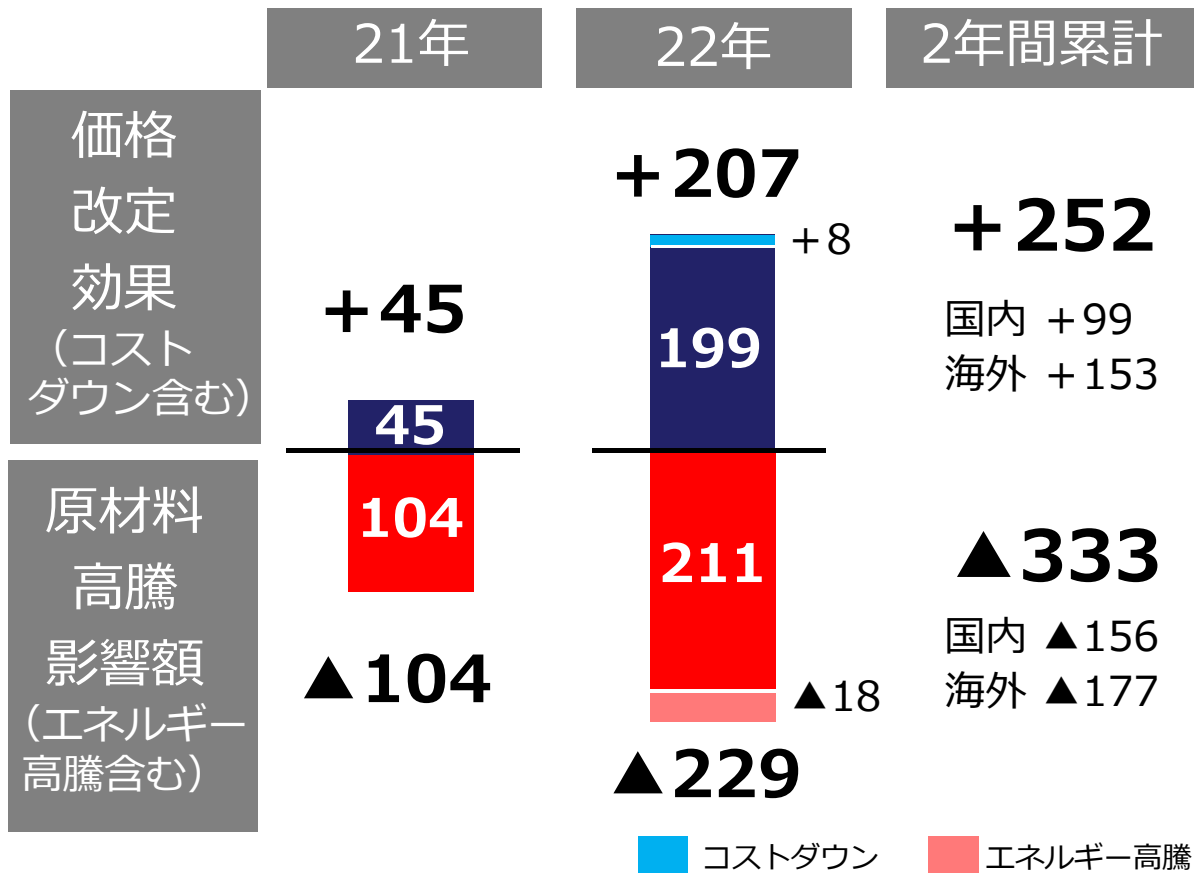


2022年度 原材料価格の動向と価格改定

原材料価格高騰の背景

- ウクライナ情勢等によるエネルギー価格高騰および原材料調達の不安定化
- 為替（円安）による輸入原料の価格上昇
- 世界的な環境規制強化の継続による対策コスト増大

営業利益への影響（対前年）（億円）



原材料高騰影響の詳細

<セグメント別 原材料高騰影響額>

- 色材・機能材 ▲43億円
- ポリマー・塗加工 ▲113億円
- パッケージ ▲87億円
- 印刷・情報 ▲71億円

<主な原材料>

- 有機溶剤※
- 樹脂・樹脂原料※
- 顔料・顔料原料↑
- 酸化チタン↑
- 容器（ドラム缶等）↑
- ほか

※ナフサ由来原料 ↑23年も高騰見込み

2022年度 事業セグメント別実績概況

- **色材・機能材**：メディア材料がパネル市況悪化で減益、インクジェットは新工場のコスト増で減益、着色剤は自動車・OA市場低迷と原料高騰で減益、LiB用分散体は売上拡大
- **ポリマー・塗加工**：エレクトロニクス用は後半よりパネルやスマートフォンの調整を受け減速、工業材や包装用は粘着剤の設備増強効果もあり海外で伸長
- **パッケージ**：食品包装用は需要堅調もトルコのインフレ対応、江門新工場のコスト増加、中国ロックダウン影響で海外事業の収益悪化、環境調和型製品は各地で進捗
- **印刷・情報**：国内市場は縮小加速で収益悪化、海外は前年並を確保、機能性コーティング材が伸長

	2021年度実績（億円）		2022年度実績（億円）		増減率（%）	
	売上高	営業利益	売上高	営業利益	売上高	営業利益
色材・機能材	750	54	794	18	5.8	▲65.7
ポリマー・塗加工	707	36	762	25	7.8	▲29.7
パッケージ	736	18	835	10	13.3	▲46.9
印刷・情報	667	17	752	7	12.7	▲62.2
その他・調整	19	5	17	9	-	-
連結	2,880	130	3,159	69	9.7	▲47.2

2022年12月期 決算説明会

中期経営計画SIC-II（2021～2023年）の進捗

激変する市場環境下での対応




方針①

事業の収益力強化

- **低収益事業の再編・改革・撤退**
 - 国内印刷・情報関連事業の構造改革（3億円）
アライアンス、成長分野へ人員シフト、分社・販社計6社統合
 - 色材・機能材関連事業の効率化（7億円）
国内生産拠点の統廃合（茂原工場）、海外着色剤の不採算拠点整理
- **将来の成長を見据え積極投資で供給力を拡充：投資累計464億円(計画)**
- **海外へのシフト：主力の8製品において海外事業を拡大**

方針②

重点開発領域の創出と拡大

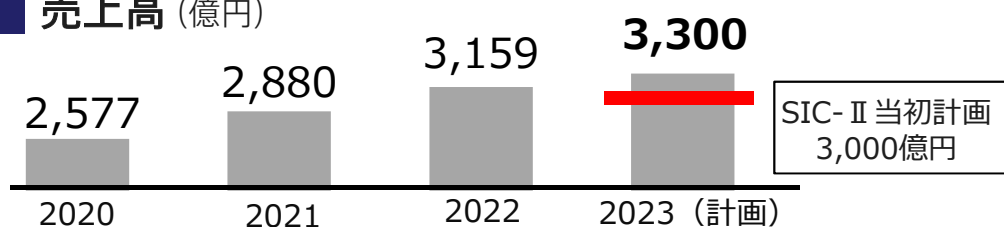
- **グリーン・デジタル・健康：LiB材料、環境調和型製品**   
- **オープンイノベーションの推進：東京工業大学など産学連携を推進**

方針③

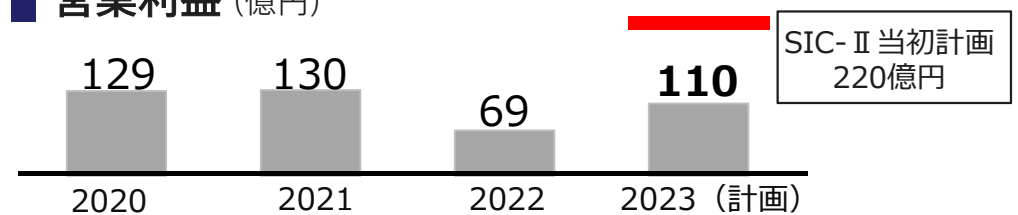
持続的成長に向けた経営資源の価値向上

- **ESG経営推進：TSV2050/2030の策定と推進**
- **経営基盤の強化：DX推進、間接部門から成長領域へのシフト**

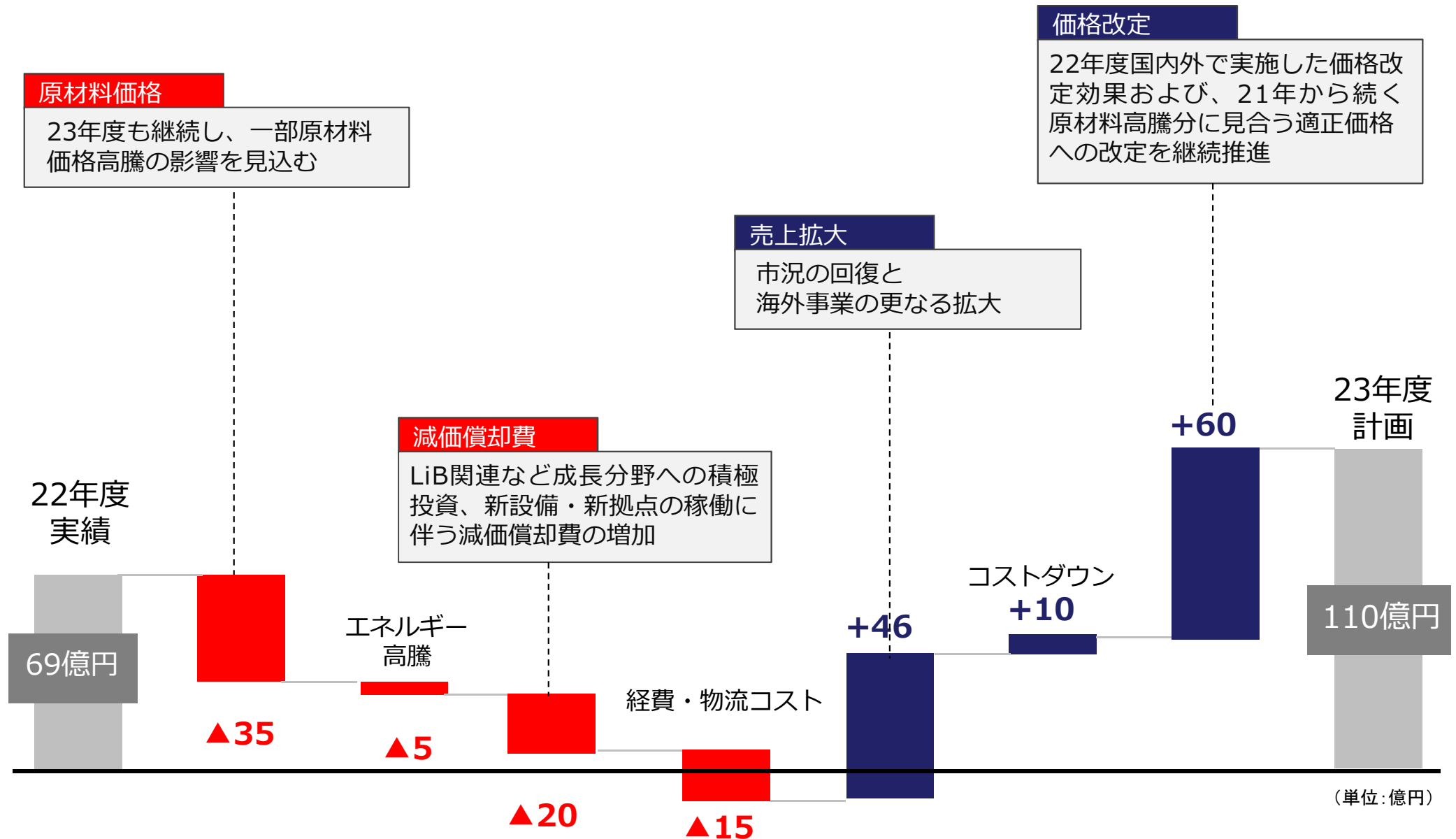
売上高 (億円)



営業利益 (億円)



2023年度通期 営業利益の増減要因見通し



1 市況回復・海外事業拡大による営業利益改善

+46億円

- ✓ 環境調和型製品による海外事業の拡大（+28億円）
（主に着色剤、製缶塗料、グラビアインキ、UVインキ）
- ✓ 設備増強による海外事業の拡大（+16億円）
（主に機能性分散体、粘着剤、ラミネート接着剤）
- ✓ メディア材料の市況回復（+2億円）

2 コストダウンによる営業利益改善

+10億円

- ✓ 生産効率化（+3億円）、原料見直し（+3億円）、
国内印刷・情報関連事業の構造改革効果（+4億円）など

3 価格改定による営業利益改善

+60億円

- ✓ 22年度実施分の効果継続と妥結済分（+42億円）
- ✓ 23年度に新たに実施する価格改定の見込み（+18億円）

2023年度 事業セグメント別計画

- **色材・機能材**：LiB用分散体を欧米中日市場へ供給拡充、液晶パネル中国市場での拡販、着色剤の環境調和型製品の展開、インクジェットは水性軟包装用を拡大
- **ポリマー・塗加工**：国内の価格改定や不採算品見直しと海外の拡大による収益力改善、成長領域（環境、半導体、メディカル）への製品展開による中期的な収益構造変革
- **パッケージ**：環境調和型製品を軸とした製品展開、国内外で価格改定を推進、海外市場でのシェア向上と収益改善
- **印刷・情報**：国内構造改革の継続によるコストダウンと価格改定の推進、機能性インキ※を中心とした海外事業の拡大

	2022年度実績（億円）		2023年度計画（億円）		増減率(%)	
	売上高	営業利益	売上高	営業利益	売上高	営業利益
色材・機能材	794	18	870	36	9.6	95.0
ポリマー・塗加工	762	25	780	45	2.3	79.7
パッケージ	835	10	880	25	5.4	159.6
印刷・情報	752	7	750	12	▲ 0.2	83.5
その他・調整	17	9	20	▲ 8	-	-
連結	3,159	69	3,300	110	4.5	60.2

※機能性インキ：UVインキ、金属インキ、スクリーンインキ

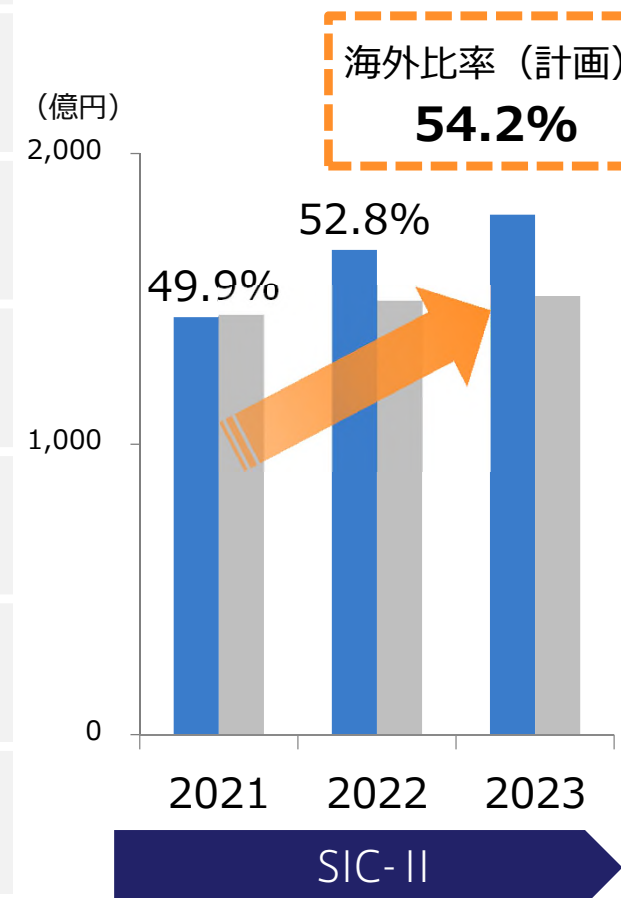
2022年12月期 決算説明会

環境調和型製品を軸に拡大

メディア材料	・ 中国市場で売上拡大、中小型やセンサー市場など取り組み強化
着色剤	・ 環境対応製品（リサイクル、太陽電池）
機能性分散体	・ LiB用分散体を欧米中日市場へ供給拡充
粘着剤	・ 中国、インド、米国、韓国の新規設備で売上拡大
ラミネート接着剤	・ マレーシア能力増強で東南アジア強化
製缶塗料	・ 欧米環境規制対応の水性塗料を米国、中国へ
グラビアインキ	・ 東南アジア、インドでPVCフリー・水性・ミドルグレード品拡大
UVインキ	・ 紙器パッケージ市場向けヘシフト

グループ連結 海外売上高・比率

■ 海外売上高 ■ 国内売上高



- 液晶パネル市場はFY22上期後半から低迷も、在庫調整一服しFY23下期以降回復へ
- 中国シフトは加速・競争激化が更に進展、顧客採用に向け量産テストを継続

大型パネル市場
(コモディティ)

世界最大の中国市場で売上拡大

コスト競争力強化

顔料からレジストまでの
一貫生産体制による革新製法

中国現地営業体制の強化

レジストインキ：現地パートナーの活用
ペースト：商社連携で顧客拡大

ハイエンド市場
(中小型など)

徹底した差別化・機能製品を展開、シェア拡大

中小型パネル

薄膜高精細

センサー

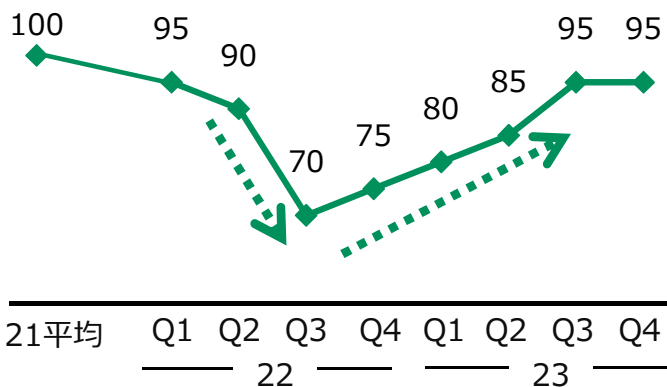
CMOS・波長制御

環境負荷低減

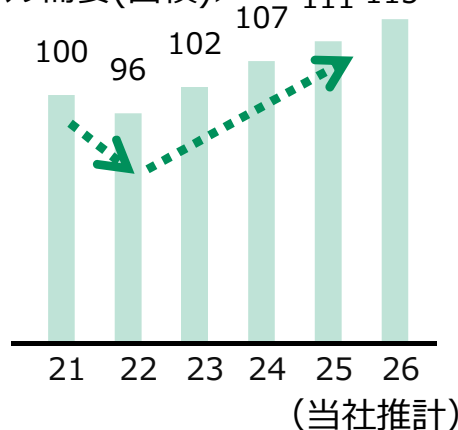
分散レス顔料・低温硬化

LCDパネル（TV用）市況の見通し（21年を100とした場合）

<パネル生産稼働率>

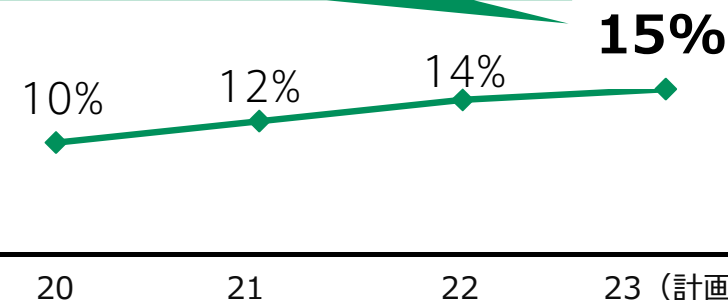


<パネル需要(面積)>



レジストインキの世界市場シェア（推移・計画）

2023年世界市場
シェア15%へ



2022年12月期 決算説明会

- 当社LiB正極材用導電カーボンナノチューブ（CNT）分散体の需要が中国・北米で拡大、順次量産を開始

中国

世界最大手の車載電池メーカーCATLに採用

- 航続距離が長いハイエンドEV用 次世代高容量LiBに採用
- 当社の中国珠海拠点の設備を増設し、生産能力を強化
- 24年量産モデルのLiBより搭載予定



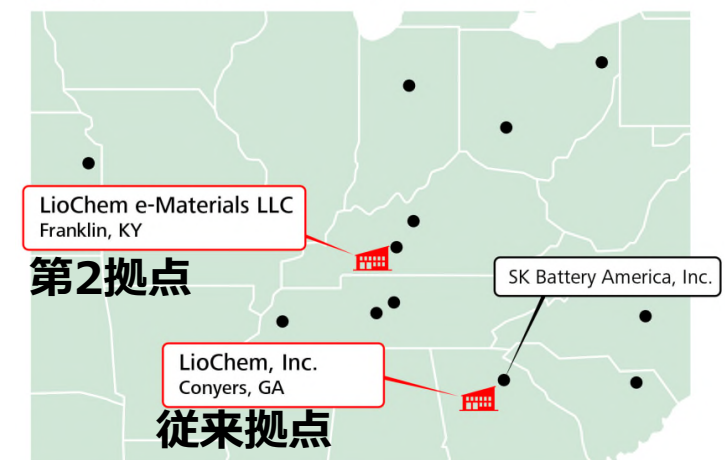
珠海東洋色材有限公司 外観

北米

米国車載電池市場が急拡大、北米第2拠点の新会社・新工場を設立

- 北米EV市場および車載用電池の需要急拡大に伴い生産能力が不足することから、従来のジョージア州工場（ライオケム（株））に加え、北米第2拠点となるライオケム・イー・マテリアルズ（新会社）を新設
- 25年より量産開始予定

🏠 Toyo Ink Group 拠点 ● 主要 LiB メーカー所在地 (計画含む)



LiB用分散体② –グローバル供給体制の拡充と独自技術で事業拡大–

■ 4極生産体制と独自技術を持つ唯一のCNT分散体メーカーとして事業拡大

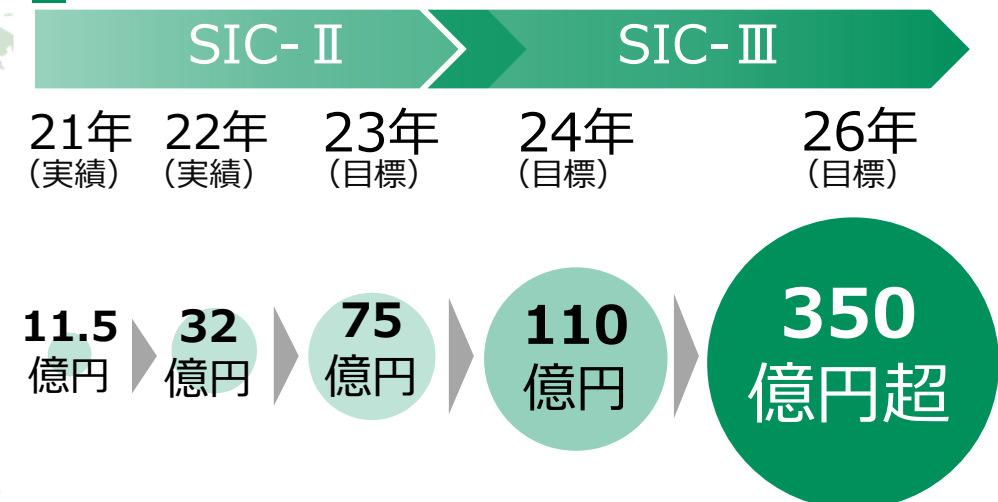
- 4極生産体制：EV4市場（欧米中日）でCNT分散体の現地安定供給体制を構築
- 独自技術：技術革新により性能と安全性を両立させた高性能CNT分散体（正極材用）、負極材用など関連材料も開発推進

ユーザー・市場	当社工場	当社進捗
SK ON	米国ジョージア・ハンガリー	計画通りに進捗、米国・欧州で供給開始
北米需要拡大	米国ケンタッキー	北米拡大に向け生産能力強化のため新会社・新工場を設立
CATL	中国珠海	新規採用、珠海の設備を増強し生産能力を強化
その他各社	4極生産体制で対応検討	車載用高容量LiBメーカー各社から引き合い急増

当社の4極生産体制



売上実績・目標（SIC27）



ESG経営の推進

E

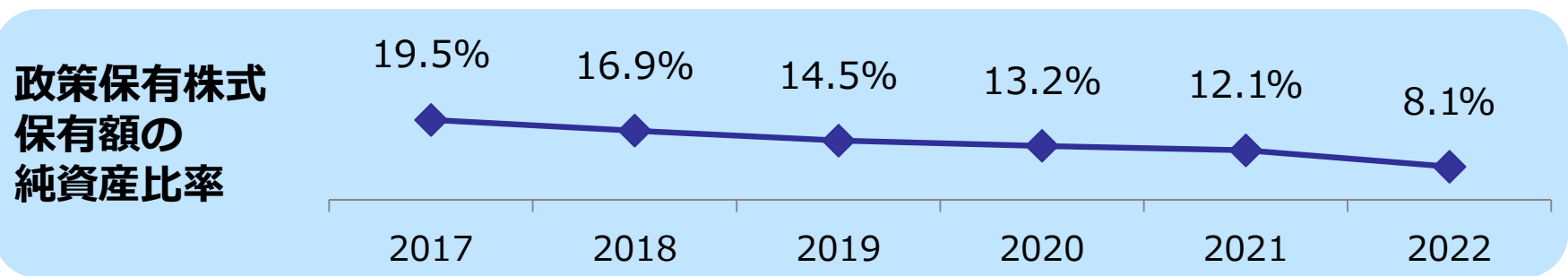
- サステナビリティ経営を推進：
TSV2050/2030の推進、海外拠点含む具体策の本格化

S

- 新事業を担う人材の育成：インキュベーションプログラムへ参画
- ダイバーシティ&インクルージョン：専任組織を発足

G

- ガバナンス強化： 監査等委員会による監査の強化、SAP推進
- 政策保有株式の削減： 21年度 276億円 ▶ 22年度 185億円へ削減



事業基盤の強化

- 新事業創出に向けた専任組織を設置
- リスキリング・リカレント教育の導入
- 間接部門の人員を成長領域へシフト

DX推進による基盤強化

- 営業・技術開発・生産・管理でDXを推進

設備投資 成長を推進する設備投資を実行

設備投資※

SIC-Ⅱ 3年間累計 400億円 (当初計画)

▶ 464億円 (修正計画)

- 2021年度 188億円 (実績)
- 2022年度 108億円 (実績)
- 2023年度 168億円 (計画)



▶ 2023年度 LiB用分散体向け
設備投資 88億円

主要な設備投資

色材・機能材

- 米国 (ジョージア・ケンタッキー) (稼働、追加投資予定)
- ハンガリー (稼働、追加投資予定)
- 中国 (増強予定) (LiB用分散体)

ポリマー・塗加工

- 米国・中国・インド・韓国・トルコ・マレーシア (粘着剤・接着剤) (設備新設・増強・21~23年稼働予定)
- 守山 (建設中・23年稼働予定) (メディカル)

パッケージ

- 江門 (新工場 稼働)
- トルコ (新工場 建設中・23年稼働予定)
- インド (第2工場 稼働) (リキッドインキ)

※このページの設備投資額は発注ベースで記載しています。そのため有価証券報告書記載の財務会計上の金額とは異なっています。
2022年12月期 決算説明会

新たな社名

artience

artience株式会社 (アーティエンス)

- 東洋インキS Cホールディングスの社名を変更（グループ関連会社の名称は変更なし）
- 株主総会での決議後に確定
- 社名変更は2024年1月1日付を予定

Art

感覚・美的価値・技

五感を刺激する価値(色彩や触感)

人の心を動かす、感性に響く価値
(ワクワク・喜び・共感・心地よさ・体験)

リベラルアーツの考え方

Science

科学・テクノロジー

技術・テクノロジー・機能の追求

新技術・新素材の追求

合理的・論理的なアプローチ

artience (アーティエンス) は、「art」と「science」を融合した言葉です。artは色彩をはじめとした五感や心への刺激に加えリベラルアーツの観点、scienceは技術や素材、合理性を表現しています。当社の強みであるartとscienceを融合し磨き上げることによって生まれる、人の心を動かす「感性に響く価値」を世界に提供していくことで心豊かな未来の実現に貢献していくという思いを表しています。

2022年12月期 決算説明会

■ IRに関するご質問・お問い合わせ先

ir@toyoinkgroup.com

■ ウェブサイト

<https://sched.toyoinkgroup.com/ja/index.html>

■ 主要ニュースリリース

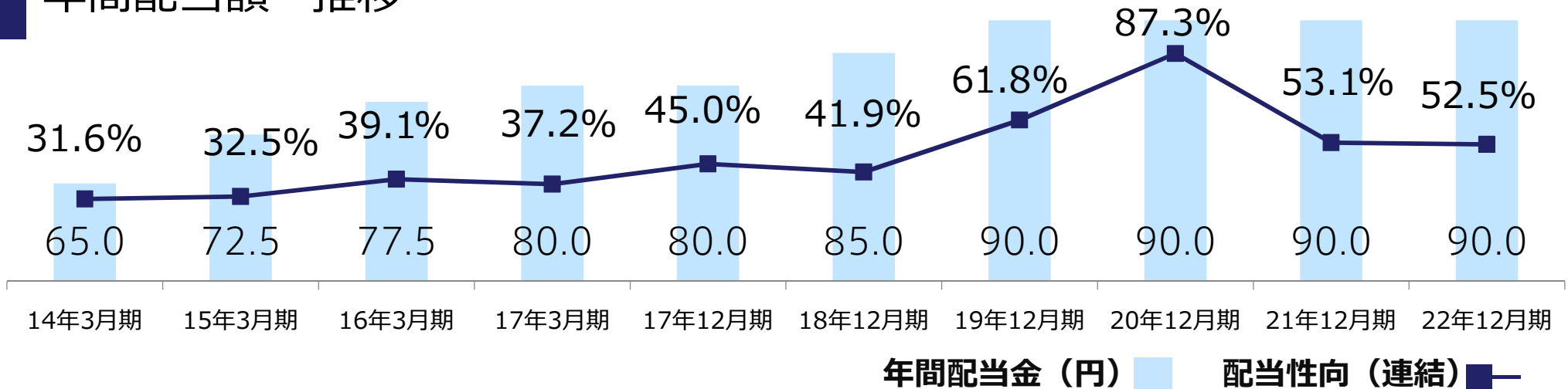
- リチウムイオン電池正極材用導電 CNT 分散体の北米第 2 拠点を設立 (2023年2月13日)
<https://sched.toyoinkgroup.com/ja/news/2023/23021301.html>
- 世界最大手の車載電池メーカーCATL に LiB 用材料が採用 (2023年2月13日)
<https://sched.toyoinkgroup.com/ja/news/2023/23021302.html>
- 東洋インキグループ、マレーシアにおけるラミネート接着剤の生産設備を増強
(2022年9月8日)
<https://sched.toyoinkgroup.com/ja/news/2022/22090801.html>
- トーヨーケムのセンシングシステム「Fichvita®」がパラマウントベッドの床ずれ防止
エアマットレスに採用 (2022年9月28日)
<https://sched.toyoinkgroup.com/ja/news/2022/22092802.html>

(参考) 株主還元 安定した配当政策

株主還元に関する基本方針 (要約)

- 長期的な視点ですべてのステークホルダーの満足度を向上し続けることで、持続的な成長を実現していくことを目指す
- 長期にわたり安定的な経営基盤の確保に努めつつ、安定的な配当を継続
- 当中期経営計画期間（2021年～2023年）においては現状の配当金額（年90円）を下限とするが、業績によっては見直しを検討
- 安定配当を基本としながら、キャッシュ・フローや内部留保の状況等を総合的に勘案しつつ、自己株式の取得を機動的に行うなど株主還元を努める
- 内部留保については、基盤事業や成長が見込まれる事業分野への設備投資と、将来の利益向上に寄与できる研究開発に充てる

年間配当額※ 推移



※グラフにおける年間配当額は2018年7月1日 株式併合実施換算後の数値

2022年12月期 決算説明会

(参考) 連結貸借対照表等の概況

(単位：億円)

	2021年 12月末	2022年 12月末	増減率 (%)
流動資産	2,236	2,292	2.5
固定資産	1,833	1,819	▲0.8
資産計	4,069	4,112	1.1
流動負債	1,121	1,135	1.2
固定負債	678	698	3.0
負債合計	1,799	1,833	1.9
純資産計	2,269	2,279	0.4
負債純資産計	4,069	4,112	1.1

	2021年 12月末	2022年 12月末
有利子負債(億円)	810	864
自己資本比率(%)	53.7	53.3
D/Eレシオ	0.39	0.42

関係会社の数

	2021年 12月末	2022年 12月末
連結子会社	61	61
持分法適用会社	7	7

配当の状況

(単位：円/株)

	2021年度	2022年度
中間	45.0	45.0
期末	45.0	45.0(予想)

設備投資と減価償却費

(単位：億円)

	2022年度 実績	2023年度 通期計画
設備投資※	172	168
減価償却	107	110

※設備投資：実績は検収ベース、計画は発注ベースの金額

(参考) 連結損益計算書の概況

単位：億円

	2021年 12月末	構成比 (%)	2022年 12月末	構成比 (%)	増減率 (%)
売上高	2,880	100.0	3,159	100.0	9.7
売上総利益	587	20.4	542	17.2	▲7.7
販管費計	457	15.9	473	15.0	3.6
営業利益	130	4.5	69	2.2	▲47.2
営業外収益計	38	1.3	43	1.4	14.7
営業外費用計	13	0.5	33	1.0	146.4
経常利益	154	5.4	79	2.5	▲48.8
特別利益計	7	0.2	59	1.9	754.9
特別損失計	30	1.0	15	0.5	▲50.7
税金等調整前当期利益	131	4.6	124	3.9	▲5.9
法人税等計	35	1.2	30	0.9	▲14.0
当期純利益	97	3.4	94	3.0	▲3.0
親会社株主に帰属する当期純利益	95	3.3	93	3.0	▲1.9

(参考) 事業別セグメント実績

		2022年12月期 第4四半期 (3ヶ月) 実績 (億円)		増減率 前年同期比較(%)		増減率 2022年12月期 第3四半期比較(%)		当期累計実績 (億円)		増減率 前年同期比較(%)	
		売上高	営業利益	売上高	営業利益	売上高	営業利益	売上高	営業利益	売上高	営業利益
色材・ 機能材	日本	103	4	▲3.2	▲67.9	31.0	-	386	13	▲5.7	▲60.8
	海外	154	3	10.6	▲9.8	6.0	730.0	583	6	11.2	▲74.8
	合計	204	5	4.5	▲63.9	3.6	-	794	18	5.8	▲65.7
ポリマー・ 塗加工	日本	130	0	▲3.5	▲93.2	4.4	-	513	7	2.7	▲71.1
	海外	88	6	4.1	125.3	▲0.7	64.6	360	17	14.7	60.1
	合計	195	7	2.2	▲19.5	4.7	138.8	762	25	7.8	▲29.8
パッケージ	日本	117	3	3.1	90.5	0.3	74.9	446	10	6.9	6.0
	海外	99	0	8.9	▲75.2	▲8.6	240.3	400	0	21.1	▲97.9
	合計	213	3	6.1	▲4.3	▲3.8	90.4	835	10	13.3	▲46.9
印刷・ 情報	日本	100	▲4	3.5	-	4.8	-	375	▲10	3.6	-
	海外	106	3	17.6	▲40.3	▲8.0	▲26.9	426	17	25.4	▲1.2
	合計	194	▲1	8.9	-	0.1	-	752	7	12.7	▲62.2
その他		12	1	▲2.4	-	3.0	▲46.8	49	9	▲13.9	67.6
調整		▲9	0	-	-	-	-	▲33	0	-	-
連結		809	16	5.1	▲52.3	0.8	124.2	3,159	69	9.7	▲47.2

(注) 事業セグメントの日本・海外の実績には地域間消去を考慮していません。


2022年12月期 決算説明会

(参考) 地域別セグメント実績

当期実績	2022年12月期 第4四半期 (3ヶ月) 実績 (億円)		増減率 前年同期比較(%)		増減率 2022年12月期 第3四半期比較(%)		当期累計実績 (億円)		増減率 前年同期比較(%)	
	売上高	営業利益	売上高	営業利益	売上高	営業利益	売上高	営業利益	売上高	営業利益
	日本	463	4	▲0.5	▲82.0	8.4	-	1,770	29	2.0
アジア	316	11	4.6	24.3	▲2.4	24.2	1,269	37	11.7	▲23.4
ヨーロッパ	73	1	27.1	▲65.4	5.4	-	269	5	27.9	▲62.6
北米・中南米	56	▲0	26.0	-	▲11.3	-	227	▲1	40.0	-
調整	▲99	▲1	-	-	-	-	▲376	▲1	-	-
連結	809	16	5.1	▲52.3	0.8	124.2	3,159	69	9.7	▲47.2

(参考) 昨年度実績(億円)	第1四半期		第2四半期		第3四半期		第4四半期		合計	
	売上高	営業利益	売上高	営業利益	売上高	営業利益	売上高	営業利益	売上高	営業利益
日本	415	17	432	21	423	14	465	22	1,735	73
アジア	268	16	278	13	287	10	302	9	1,136	48
ヨーロッパ	49	2	53	6	50	1	58	4	211	13
北米・中南米	35	1	40	1	43	▲0	45	▲0	162	1
調整	▲85	▲1	▲93	▲3	▲87	1	▲99	▲2	▲364	▲5
連結	684	35	710	37	716	25	770	33	2,880	130

(参考) 主な製品・用途 (色材・機能材/ポリマー・塗加工)

	主な事業	主な製品	主な用途	
色材・機能材	メディア材料	表示材 (レジストインキ)、ペースト、高機能顔料	ディスプレイ、センサー	
	プラスチック着色剤	マスターバッチ、コンパウンド	容器、自動車、家電OA、建材	
	顔料	顔料、顔料分散体	印刷インキ、自動車塗料	
	インクジェット	インクジェットインキ	看板広告、ラベル、段ボール	
	機能性分散体	リチウムイオン電池用材料、機能性分散体	EV用リチウムイオン電池	
ポリマー・塗加工	パッケージ・工業材料	粘着剤、ラミネート接着剤、ホットメルト、製缶塗料、樹脂	ラベル、フィルム包材、太陽電池、PETボトルラベル、飲料缶、建材	
	エレクトロニクス	機能性フィルム、粘着剤、両面テープ、ハードコート	スマートフォン、ディスプレイ、タブレット	
	メディカル・ヘルスケア	メディカル製品、粘着剤、天然材料	貼付型医薬品、スポーツテープ、食品、飼料	

(参考) 主な製品・用途 (パッケージ/印刷・情報)

	主な事業	主な製品	主な用途
パッケージ	リキッドインキ	グラビアインキ	フィルム包材 (食品パッケージ、日用品詰め替え) 建材
		フレキシソインキ	サニタリー、段ボール、紙袋
印刷・情報	オフセットインキ (一般インキ)	オフセットインキ、 新聞インキ	書籍、新聞、チラシ
	機能性インキ	UVインキ	紙器、ラベル、書籍
		金属インキ	飲料缶、食缶
		スクリーンインキ	エレクトロニクス、ステッカー

